



NO. 264

2015. 6. 15

社会福祉法人 大阪市手をつなぐ育成会

大阪市天王寺区東高津町12-10

大阪市立社会福祉センターB1F

発行責任者 小泉 いと子

TEL 06(6765)5621 FAX 06(6765)5623

<http://city-osaka-ikuseikai.or.jp>

定価 10円

大阪市手をつなぐ育成会 法人理念

障がいのある人が 安心して 心豊かに すごせるように

平成26年度事業報告について

平成27年5月28日(木)に理事会・評議員会が開催されました。そのなかの議案として平成26年度事業報告書(案)が承認されております。ここではその内容の一部をご報告します。

事業概要 (一部抜粋)

当法人では平成22年度の決算において法人全体で赤字決算になったことから、各種事業の見直しや施設経営上における課題解決を図ってきました。

その結果、人員配置の効率化、各事業の収支改善をはじめとした経営改善を行いました。一方で職員の資質の向上を目指すため、目標管理の試行的実施や資格取得にかかる受験料補助制度の創設を行い、職員の自発的な資格取得を奨励する取り組みも実施しました。

職員の資質の向上を目指す取り組みとして、1つ目としては、平成26年4月から「スキルアップ検討会」を設置し、職員に対して法人理念の浸透を図るために法人の基本理念と行動指針のカード化、法人全体で研修体系の再整備を実施しました。その後、平成26年11月からはスキルアップ検討会を発展解消した形で「研修企画委員会」を設置し、新しい研修体系に基づく研修を検討し、第一段階として主任級職員が、初任者向けに接遇研修を行うための講師養成研修を実施しました。今後は、接遇研修他にも法人内で研修ができるように役職者のスキルアップを図って参ります。

2つ目としては、平成26年5月からは業務上発生するリスクに対応できるようにするため、「リスク管理委員会」を設置しました。この委員会を設置したことにより、従来では各事業所内だけで完結していたものを法人全体で情報共有がすすみ、事故等の発生件数が若干ですが減少してきました。

これらの他には、各事業所における職員体制の在り方についても施設長を中心に検討を行い、平成26年11月には採用試験を実施し、平成27年4月には7名の採用に至りました。

一方、事業所経営については、平成26年5月からは総括施設長を中心にした職員により、事業種別等の見直しを実施しました。その結果、従来、港育成園では生活介護(20名)と就労継続B型(30名)を実施していましたが、生活介護(40名)に一本化し、港第二育成園では、就労移行支援(20名)と自立訓練(生活訓練)(20名)のうち、自立訓練(生活訓練)を就労継続B型(20名)に変更しました。併せて、旧法通勤寮から宿泊型自立訓練に移行した支援センターについては、収支均衡の見通しがたたず、抜本的な事業変更を実施する以外の選択肢は無いとの判断から平成26年3月末で事業廃止をし、リニューアル工事を実施してグループホームに転用しました。

この他には、平成26年6月から9月にかけて福島育成園で空調機器の更新と屋上防水工事を行うとともに一部の照明機器の更新工事として各居室の照明器具をLED化する工事を行いました。平成27年度には外壁工事を中心とした改修工事を実施するとともに各フロアの共有スペースの照明機器のLED化に向けた工事をする予定で、今後も継続した建物修繕を行うことにしています。

これまで当法人が経営改善のため、色々な取り組みを進めてきた結果、事業経営は軌道に乗りつつあり、今後も継続してハード面における計画的な施設修繕を進め、ソフト面では利用者ニーズに沿った支援を行うため職員のスキルアップや新規学卒者を対象に絞った人材確保を行い、将来に渡り安定した法人経営ができるように種々検討を図って参りたいと考えています。